

# ゆうすい

題字は轟小3年生  
川地志乃舞さん

9月定例会

第11号 平成19年11月1日  
発行



あけぼの草

主な内容

19年度補正予算	2
一般質問	9
18年度決算審査	16
議会のうごき	21

# 一般会計補正予算

## 3,086万7,000円を追加

### 旧スカラー建屋の補修

● 80万円

新たに「新輝工業」に貸付けるため、配電盤・火災報知器・雨漏り・水道漏水の補修を行うものであります。



新輝工業との賃貸契約も結ばれ、出入口も整備された旧スカラー跡地。

### 芸術があるまちづくり事業

● 54万5,000円追加

大型の作品が多く、重機借り上げ等設置費用が、当初見込みを上まわったためであります。



吉松物産館入口の石造。19年度は24点設置予定。

コラム

議長 橋口 昌博

秋冷の候 町民の皆様におかれましてはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

平成17年3月22日に合併し新しい湧水町が誕生して2年と半年が経過しました。振り返って見ますと、平成17年9月に台風14号、又18年7月県北部豪雨災害と2年連続未曾有の大被害を受けました。

私も議会と致しましても合併して半年目には台風14号による床上・床下浸水被害の現状を見て、水害対策調査特別委員会を設置して、町行政、議会一体となつて、国土交通省・九州地方整備局・川内川河川事務所・県土木部・小里代議士を介して県選出国會議員や財務大臣へ陳情要望してまいりました。

昨年7月22日の県北部豪雨大災害時には、川内川沿線薩摩川内市から宮崎えびの市まで3市3町合同協議たいによる各首長・議長同行で強硬な陳情の結果、河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）が採択され、本町も本年度より本格的にそれぞれ

# 第3回 定例会

9月定例会は9月12日に招集され、10月9日までの28日間の会期で開催されました。

今定例会では条例の改正5件、廃止1件、予算では一般会計・特別会計2件、及び水道事業会計の補正予算がそれぞれ上程され、原案のとおり可決しました。

その他、財産の取得につて2件を可決したほか、4件の陳情書を審議し3件を採択。道路財源確保等の意見書を含む4件の意見書が提出され可決しました。

また、本町の6会計に平成17年度歳入歳出決算の認定について、「決算審査特別委員会」が設置・付託され、全ての会計を認定しました。

一般質問では議員7名が15項目について質しました。

## 般若寺分団詰所新築

### ● 129万2,000円追加

石油高騰等により、資材費が値上がりしたためであります。



詰所新築予定地の山下集会所



## 米政策改革対策

### ● 40万5,000円

制度改正によるもので、本年度より集荷業者が、割り当てすることとなったため、新たに町水田農業推進協議会に事務的経費を補助するものです。

※凝議（心をこらして相談すること）

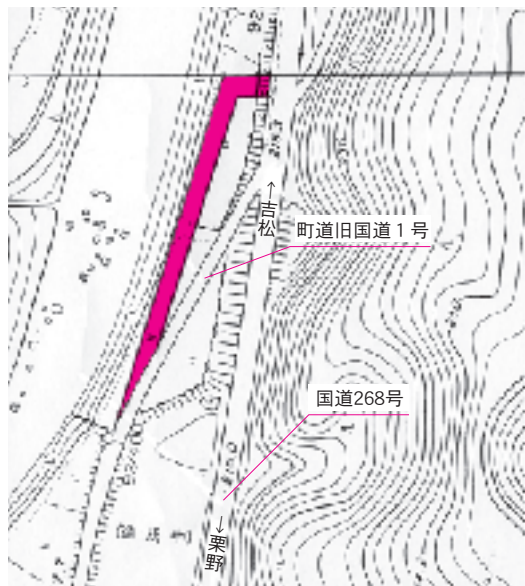
議事に水害対策調査特別委員会も阿波井堰が固定堰であり、本町吉松地域の洪水の原因の一つと考えられることから、現在の阿波井堰を撤去し、上流域の河床安定、平水位確保並びに下流域の流量調整のため、北方新田への通水が可能で洪水疎通に支障のない、調整機能がある堰を新たに設置することが、望ましいという事で、住民代表の検討委員会、町行政、議会一体となって進め、湧水町民が安全で安心して暮らせる町造りを進めてまいります。

の工事発注がなされ、着手している状況であります。本町最大の流水障害とされる阿波井堰については、この事業では改修計画はなく住民が一日も早い抜本的河川改修を望む地域の声を高くして、河川の基本となるべく事項を定める川内川水系河川整備基本方針に基づき、概ね20年から30年の整備目標と具体的な整備内容を定める川内川水系河川整備計画に、湧水町では阿波井堰及び阿波狭窄部の改修問題を一刻も早く盛り込む必要があります。

## 道路橋梁新設改良

● 525万円

川内川改修に伴う町道旧国道1号線改修による町道用地購入費であります。



施工地（下川添地区）

## 林業振興費委託料

● 175万6,000円



竹林の保全や良好な景観の確保を図ることを目的とし、国県道、観光道路周辺を中心に事業を行うもので、今年度は国道268号線沿いの鶴丸ロータリー公園、川添トンネル周辺を中心に整備するものです。

18年3月に疎水百選に認定された筒羽野の疎水（竹中池用水）PR用案内板設置工事費であります。



看板設置予定箇所（竹中池入口付近）

● 61万2,000円

疎水百選



五輪塔の点在する般若地あと

## 般若寺二次調査

● 41万7,000円

般若寺の第一次調査の結果、点在する五輪塔を平面図に記録して整備する必要があるための、測量調査費です。

## 介護予防事業

● 182万6,000円

要介護者を抑制するため、町単独費による特定高齢者介護予防事業新設。

特定高齢者とは、要介護・支援認定を受ける一步手前の方で、何らかの支援を必要とする高齢者であり、この方々に対して、運動機能向上など実施し、自立した日常生活を営むことができるように支援を行うものです。

## スポーツ少年団補助

● 4万7,000円



新たに湧水町軟式野球スポーツ少年団、指導者3名、団員14名の発足がありました。

## 財産の取得

湧水町公共ネットワーク整備事業  
用電算サーバ機器及びソフト購入費  
に1281万円。

図書館システム老朽化により、  
電算サーバ機器等及びソフト一  
式を購入するもので、購入費に  
871万5,000円。

## 条例改正

入浴料 315円

栗野岳ログ・キャンプ村に入浴施設が供用開始されます。使用料は1人1回315円です。ログ・キャンプ村の更なる活用と集客が見込まれます。



**介護保険事業特別会計補正予算**

**ヨガ教室の強化に135万円**

一般高齢者の介護予防事業で行うヨガ教室の要望が多いため、実施回数を150回から200回に増やすものです。

**国民健康保険事業特別会計補正**

**保険税過誤納還付金60万円**

歳入は、保険財政共同安定化事業繰入金などに伴う、国民健康保険基金繰入金9,005万2,000円を計上し、歳出は、保険財政共同安定化事業拠出金8,945万2,000円、一般被保険者国民健康保険税還付金60万円の増額するものです。

**水道補正予算第2号**

町道四ツ枝永山線道路改良工事に伴う水道管布設替を水道事業で実施する予定でしたが、道路改良事業の一環として実施することとなったため、一般会計への負担金に組替えるものです。

**専決第4号（承認）**

平成19年度湧水町一般会計補正予算（専決1号）  
補正額 79万9,000円

中越沖地震被災地の復旧応援及び危機管理研修のため職員4名を派遣したものです。

**条例の廃止 普通財産へ**



湧水町高齢者等共同農園の設置及び管理に関する条例を廃止する条例を可決。

共同農園を普通財産として本条例を廃止し、町民がだれでも使える共同農園とするものです。

**その他**

- 非核・平和宣言アピール看板設置 ……12万1,000円
- 町税過誤納返納金 …………… 112万2,000円
- 災害対策用職員時間外手当に …… 174万5,000円
- 郵政民営化法の施行に伴う条例の改正4件

## 南アジアの核軍拡競争を防ぐ

陳情者 湧水町川西 平谷 和文 氏

陳情の主旨は、核兵器計画を進めているインドに対する原子力関連輸出を認めるための議論が、原子力供給国グループ（NSG）で予定されている件で、南アジアの核軍拡競争を防ぐため、重要な役割を担う日本が主導的立場から慎重な議論をすべきであるとの意見書を、内閣総理大臣及び外務大臣あてに提出してほしいというものであります。

採択

「非核・平和都市宣言」の町としての立場、被爆国日本としての立場、国際的な使命からも陳情の主旨は理解できるものとして、全会一致で採択しました。

# 陳情

## J R 不採用問題

陳情者 湧水町鶴丸 岩元 啓次 氏

陳情の主旨は、「J R 不採用問題」が未解決のまま20年が経過している。不採用者の平均年齢も53歳と高齢化し、家族を含め苦しみにあえいでいる。人道的見地から速やかに現実的な解決を図るべきとする意見書を国会及び政府に提出してほしいとするものであります。

採択

湧水町は民営化前においては国鉄の町として栄えた経緯もあり、該当者もいらっしゃる事とあわせ人道的見地から主旨は理解できるものとして、全会一致で採択しました。

## 割賦販売法の抜本的改正

陳情者 湧水町米永 宮田 康浩 氏

陳情の主旨は、悪質商法を助成するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等へ提出してほしいとするものであります。

採択

悪徳商法の被害を防止するという見地から、主旨は理解できるものとして全会一致で採択しました。

これらの陳情の採択に伴い、関係機関にそれぞれの主旨に沿った意見書を提出しました。

障害者の生活実態に即した障害者自立支援法の運用に関する陳情書

陳情者

湧水町木場

発達支援センター「たん

ぽぽ・みのり」親の会〇

B会 園田めぐみ

陳情の主旨は「自立支援法」施行の影響により、障害当事者・家族・事業者に加え自治体関係者といずれもが萎縮した状態に追い込まれつつありますが、このような事態を打開し障害者及び家族が、地域において安心して暮らしを営めるよう、貴自治体においても何らかの支援策を講じていただきたいというものです。

審査の結果

陳情書内容及び本町の実態を詳細に調査する必要があるため、継続調査を要するものとなりました。

# 委員会審議総括！

## 一般会計

土木費の賃金456万4000円減

問 作業班の人員が減となつているが、村づくり方策などの地域からの要望に対応できるのか。

答 2名減で非常に厳しい状況にあり、基本的に雑木などの伐採等については、所有者、集落等に対応してもらい、高齢化等顕著な集落等については、地域の状況等考慮しながら対応していきたい。

町道旧国道1号線改修による用地購入

問 用地購入、工事はどこが行うのか。

答 用地は町で購入しますが、河川改修に伴

うもので工事は国土交通省が実施します。

総合交流センター

問 福祉ブローは障害者には無理があると思うが、福祉の面から配慮されているか。

答 利用者がいろいろ工夫されていると聞いています。今後、専門的な方の意見を聞いて検討します。

芸術があるまちづくり事業

問 作者が来町することはないのか。

答 町内にアトリエを構えたいとか、アト村を作ってほしいとの要望もあります。芸大と連携して合宿等も考えていきたいと考えています。将来は定住してくれればと思っています。

旧スカラー  
建屋の補修

問 スカラーが整備すべきではないのか。

答 すでに撤退しているし、町の施設なので町で修繕します。

国保会計

問 過誤納還付金はどれくらいあるのか。

答 20件程度あり、その金額は17年度50万円、18年度45万円程度であります。

介護保険

問 予防教室の委託先はどこか。

答 在宅介護支援センターです。

問 利用者の状況は。

答 1会場平均15名位です。また、原則65歳以上ですが、ヨガ教室については、一般の方も受け入れていきます。

問 包括支援センター職員は、どこの施設から出向しているか。

答 社会福祉士の資格を持った1名がグリーン光芳から出向しています。



# 町政を問う

ここが  
聞きたい!

池上滝一 議員



## 南消防署と吉松分遣所の新設統合計画

### 厳しい財政状況の中ひとつの方法である

**池上** 大口市外四町消防組合への運営負担金は18年度で約2億5,000万円であり、本町の財政状況を考慮した場合、将来にわたり継続負担しているか不安と疑問が残る。負担金の9割が職員給与であることから吉松・栗野の消防施設を統合し、川添トンネル周辺に新設することによる職員数削減で負担金軽減が図られると思うが。

**町長** 負担金を交付税算定額で賄えず、一般財源による負担が年々増加している状況にありますので、組合に対し見直しを強く要請していますが、いまだに解決の目途がたっておりません。質問にあります新設もひとつの方策であると考えます。他にも消防と救急を分けた施策などもあり、県の消防署再編の動きもありますので、注視しながら今後において組合組織の全体計画の中で考慮していきます。



広報ゆうすい  
に  
職員紹介コーナーを

**池上** 地方分権時代には官民協働の町づくりが必要である。そのためにはまず役場職員の顔

名前、所属担当課を全町民によく知ってもらうことも重要であると思う。広報ゆうすいに写真付きの全職員紹介コーナーを設けられないか伺う。

**町長** 広報発行につきましては、町民に関することをより多くという考え方の基に編集していますが、広報の役割や意義などの観点からどのような取り組みができるか、担当課や広報編集委員会を中心として全体で検討してみたいと考えます。

職員研修の成果は

**池上** 職員が地場民間企業で職場研修を体験

していますが、その後の変化及び成果は。また、これからの研修のあり方について伺う。

**町長** 職員の意識改革・資質向上を図ることを目標に昨年度から三州衛生公社へお願いし、実施しております。民間企業という行政とは異なる職場のあり方、社員のあり方に多くのことを体感し、学んだことも多々あったようで、現場の職務態度にも変化が現れていると感じます。今回は異業種での研修をいたしました。今後はさらに結果が向上するように工夫や検討を重ねてまいります。



川田 耕哉 議員

9月12日、13日議員7名が、15項目について質問しました。この内容は、質問・答弁されたものを、質問者自ら要約したものです。

## 信栄製作所跡地の活用策

### 東側の崖地対策の問題があり、活用策を決定するに至っていない

**川田** 厳しい財政状況を考えると施設の建設は、躊躇するが、公共施設への活用を条件に寄付受けした信栄製作所跡地の活用策を伺う。

**町長** 会社の吉松進出の際、工場用地取得等でお世話になった恩返しのため、広く町民に活用できるようにとの会社の意向を受けて譲り受けました。

現地調査をしながら検討していますが、東側の崖地対策の問題があり、具体的活用策を決定するに至っていません。

**川田** 温泉が湧出すれば、炊事設備の付設で町民が湯治感覚で輕易に利用できる短期滞在型保養施設、高齢者・病弱者・障害者等にいたわりと癒しのある災害時の避難所合宿所等活用策が無限に広がる。

施設の核となる温泉の掘削について伺う。



期待膨らむ信栄製作所跡地の活用策！

**町長** 既存の安楽温泉からの離隔距離が短いため、離隔条件を満足できる用地がなく、掘削適地がありません。

**川田** 馬頭観音の西側が条件をクリアする地域である。再度、源泉適地を調査して掘削を検討して頂きたい。

#### 観光振興策

**川田** 不要となつて家庭の倉庫等に眠っている自転車を提供して頂き、高校生等の協力者で整備し、来町者への便宜供与、子育て支援等への再活用策について伺う。

#### 提案一

鉄道による来町者に町内散策用として無料貸出しの便宜供与。

#### 町長

旧吉松町の観光協会が購入した自転車を無料貸出し中、転倒事故があり、整備不良により、転倒したとの訴えで中止した経緯がありますが、実行に向け、よく研究・検討してみたいです。

#### 提案二

子育て中の希望者に無償譲渡による子育て支援。

#### 町長

子育て中の家庭に対する行政の支援は必要ですが、無償譲渡の斡旋は、責任問題等の発生が懸念され、行政として取り組むのは難しいです。



宮里 廣昭 議員

## 県道栗野幸田線の今後の取り組み

### 引き続き整備を要望していきます

**宮里** 栗野幸田線は、整備が推進され、交通面や子供の通学等に利用されているが、一部がまだ整備が必要とされる。県と協議はなされているのか今後の計画は。

**町長** 幸田栗野線は、総延長4210メートルで未改良区間の延長が711メートルあります。未改良区間につきましては、大霧地区が平成20年度完成する見込みから引き続き幸田栗野線の道路整備を行うよう要望していきます。

**宮里** 町営住宅用地としての機能はあるのか。

**町長** 国の交付金事業の動向を踏まえ町の財政事情や住宅需要を鑑み整備していきます。

湧水町として今後の公営住宅等の確な整備と計画的な管理運営を図り、湧水町公営住宅等ストック総合活用計画を昨年策定いたしました。この計画書は公営住宅等のストックを効率的かつ総合的に活用するための方針や、建替事業・改善事業等の

活用手法の選定方針について策定されています。現在、住宅建設用地も含め各団地の具体的方向性及び問題等の洗い出しを行い、各団地の計画案の策定を進めております。

国の交付金事業の動向を踏まえ、また町の財政事情や住宅需要を鑑み整備していきます。



住宅建設が望まれる町有地（上場地区）



住宅建設が望まれる町有地（幸田地区）



篠原三千人 議員

## 合併効果対策と湯ったり館解決策を示せ 新町づくり計画推進資料次第で対応

**篠原** 設立の目的と経緯、条例に基づいた統括事務管理（商工観光課）と契約委託料の理解と対応は？

**町長** 住民が森林で親しむ施設として設立、管理組合に委託しました。組合は利益享受できないが不利益も生じません。資料提出のけじめがない限り、議会や町民に説明できません。

**篠原** 微研の給湯停止による湯量不足、他の同業者との競合激化で累積赤字、白アリ等施設環境対策、従業員のセーフティネット（転職等）の課題解決を前提に一年契約の指定管理者合意。

しかし、協定書内容は合意軽視、理事会召集に行政理事、担当課長は欠席、その他の協議要請等を無視。一方、閉館後、解雇された支配人と組合長に再開優先の作業要請があり、協力（一ヶ月強無償）

本年一月、担当課と経営数字の突き合わせ後、書類等庁舎保管。けじめを言うたら、開業時同様、行政主導で閉館三ヶ月程度の余裕を持ち計画的に行うべき。町長への報告内容や行政の継続性、客観性、政策性、公平性や経緯を誰が一番理解しているのか。

**町長** 経緯はよろしいです。説明できる資料次第です。細かい事は課長に答弁させます。

**篠原** 議会、地域審議会、区長会等で条例や契約委託料、職場環境や組合組織や各期の決算済や協議の件など説明したか。

**町長** 組合長が経営者でないと言われた時、駄目だと思いました。答弁もさせません。

**篠原** 当て囁組織で処理せよは不可能。行

政委嘱も他人事。議論も不信感のみ。

**町長** 合併効果や行財政改革の進捗と旧町のバランスは合併協議や町づくり計画に基づき進め、職員研修等意識改革も図っています。

**篠原** 三役・議会・委員会は削減貢献。行財政や意識改革の内容が地域や住民の自立支援やサービス強化になっているか。イベント集約や湯ったり館課題等融合にズレはないか。

**町長** 相手の立場になつて考えるよう指導しています。合併効果や課題も住民の声を大事に検討していきます。



森山マスミ 議員

## 河川整備基本方針

### 総合検討会を開き住民の声を整備計画へ

**森山**

昨年わが町は、川内川上流最大の被害を受けたにも係わらず、その元凶である阿波井堰の改良開削が激特事業に含まれず、被災者住民としては断腸の思いである。河川整備基本方針に阿波井堰の計画高水流量も記載されていない。慢性的浸水被害の原因は阿波井堰、狭窄部であるということ、町長はこの件についてどう対処されるのか伺う。

**町長**

主要な地点における計画高水流量に関する事項であります。私もなぜ基準点が阿波にないのかと思います。国は以前から考えを全く替

えていません。百年に一度という考えしかありません。指摘された通りであります。厳格に国の方へ話をする。整備計画で住民の声を反映させます。整備計画の際に議論して国へ理解を求めます。

**森山**

100年に一度の大洪水でなく、現在は、地球温暖化の関係で、大洪水や大型台風に見舞われている。なぜ阿波井堰や狭窄部だけが外されるのか。ポイントは、阿波

井堰狭窄部であるのに、改修から約90年置き去りにされた町である。下流域の被害を軽減する為、きわめて危険な地帯であり住民も限界に来ている。

このことについて伺う。

**町長**

河川改修の国交省の説明はなっていない。きちんと国に質しながら整備計画にのせてもらい、将来にわたって住民が安心して暮らせる川の改修をやるべきと考えて国交省へ強く言い行動します。

**森山**

従来から国交省のデータは、吉松橋の流量は2,500トン、阿波井堰で1,300トン、差し引き1,200トン滞留し、川添・中津川は一時間で床上浸水となる。これを防止する為にも国へ訴えるべきである。町長の考えを伺う。

**町長**

平成9年の床対のとき掘削や寄州除去が充分されていません。国交省に間違いはつきり言い、阿波井堰、狭窄部一点にしばらく国と話を進めます。



福島 勝男 議員

# 河川・水路等の災害の見落とし対策

## 補正予算で対応し、今後調査を徹底します

**福島** 前年の水害で見落とされた災害があるのではないかと放置すれば今後増破し、新たな財政負担につながる。その対応を伺う。

前年の水害で見落とされた災害があるのではないかと放置すれば今後増破し、新たな財政負担につながる。その対応を伺う。

**町長** 未曾有の大災害で件数も多く、職員も多忙をきわめ、見落とされた箇所も多分にあります。緊急的な箇所から対応していますが、今後復旧を要する災害については、補正予算で対応します。また今後の災害調査については、そのあり方を再検討し、徹底を図ります。

未曾有の大災害で件数も多く、職員も多忙をきわめ、見落とされた箇所も多分にあります。緊急的な箇所から対応していますが、今後復旧を要する災害については、補正予算で対応します。また今後の災害調査については、そのあり方を再検討し、徹底を図ります。

**福島** 河川・水路等の日常的な管理は、土地改良区や水利組合等において体制が確立されているものと、特定公共物（青線）等管理体制の確立されていない水系がある。後者の対応を伺う。

河川・水路等の日常的な管理は、土地改良区や水利組合等において体制が確立されているものと、特定公共物（青線）等管理体制の確立されていない水系がある。後者の対応を伺う。

**町長** 権限移譲で新たに町で管理する事と

なった青線は水系の数、水路延長共に膨大であり管理に限界があります。水系毎に、流域受益者による管理体制を構築して行く必要があります。

なった青線は水系の数、水路延長共に膨大であり管理に限界があります。水系毎に、流域受益者による管理体制を構築して行く必要があります。

**福島** シルバーケアセンターの収益事業の取り組みについては職員の努力により積極的取り組みがなされており敬意を表する。今後さらなる効果をあげるために、社協・ゆったり館・体育館の連携を密にし財政負担軽減とあわせ一石四鳥をめざすべき。

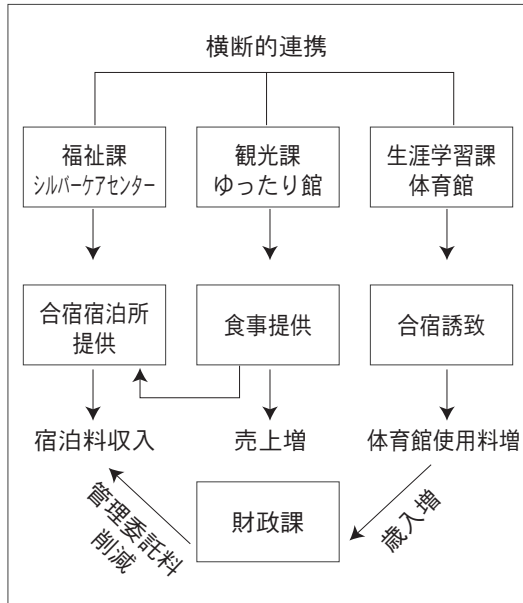
シルバーケアセンターの収益事業の取り組みについては職員の努力により積極的取り組みがなされており敬意を表する。今後さらなる効果をあげるために、社協・ゆったり館・体育館の連携を密にし財政負担軽減とあわせ一石四鳥をめざすべき。

**町長** 提言の主旨を受け止め、関係する福祉課、観光課、財政課、教育委員会の横断的連携強化を図り、スポーツ合宿等の誘致により、シルバーケアセンター・ゆったり館の収益増及び体育館使用料の確保につとめてまいります。

提言の主旨を受け止め、関係する福祉課、観光課、財政課、教育委員会の横断的連携強化を図り、スポーツ合宿等の誘致により、シルバーケアセンター・ゆったり館の収益増及び体育館使用料の確保につとめてまいります。

**福島** 旧吉松町で行ったスカイフェスタよしまつは廃止状況にあるが復活の用意はないのか。

旧吉松町で行ったスカイフェスタよしまつは廃止状況にあるが復活の用意はないのか。



賑わっていたスカイフェスタ“よしまつ”

**町長** 今年、秋まつりとあわせて、参加人員100名のパラグライダー競技大会を計画しておりますが、今年の結果をふまえ、来年度再検討をいたします。

今年、秋まつりとあわせて、参加人員100名のパラグライダー競技大会を計画しておりますが、今年の結果をふまえ、来年度再検討をいたします。



上水流 功 議員

# 文字・活字文化振興施策の策定

## 総合振興計画・教育行政要覧で対応

**上水流**

文部科学省では、知識・知恵の継承や向上、豊かな人間性の涵養の観点から、図書館の充実や学校教育での言語力の向上などの施策を総合的に進めています。

また、改正教育基本法は、「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」ことを教育の目標として掲げていますが、その施策を策定しているか何う。

**教育長**

総合振興計画、教育行政要覧では、法の精神を十分に取り入れ、その一環として「湧水町子ども読書活動推進計画」を策定しました。家庭・地域・学校が一体

となり、子どもたちの読書活動の推進にあたることをねらい、体制の整備を進めてまいりました。

図書館の充実は現状をとらえ、公立及び小・中学校それぞれ人的体制の整備と資料の充実を図ります。

なお、「書くこと」に対する取り組みは、各学校で国語の学習を中心に実践を進めています。

また、「文集くりの岳」には、小・中学校、一般高齢者から作品募集し、町民に向け発表しています。



書くよろこび、文字に親しむ

**上水流**

学校林の教育的目的の活用はどうか何う。

**教育長**

全般的に管理整備が行き届いていない学校林が多く、また、教育的目的の活用は最近図られていない状況です。今後、管理整備を図るとともに、教育的目的の活用について具体的方法を検討します。

# 平成18年度決算

決算審査  
特別委員会  
の報告

## 災害復旧に13億円

平成18年度の一般会計歳入歳出決算は、歳入総額82億6,097万5,280円、歳出総額80億528万9,851円で、差引額2億556万9,851円となりますが、繰越明許費を差引いた実質収支額は1億7,901万5,851円です。

また、18年度は鹿児島県北部豪雨災害に伴う経費が約13億円程度の計上となっています。その他、学校給食共同調理場新築工事、防災行政無線整備工事、桶寄川排水機場関係等が大きな事業です。

財政の弾力性を示す経常収支比率91%、借金返済額の割合を示す公債費比率16.4%等、各財政指数は前年度に比べ改善が見られますが、今後とも厳しい財政運営が続くものと考えられます。

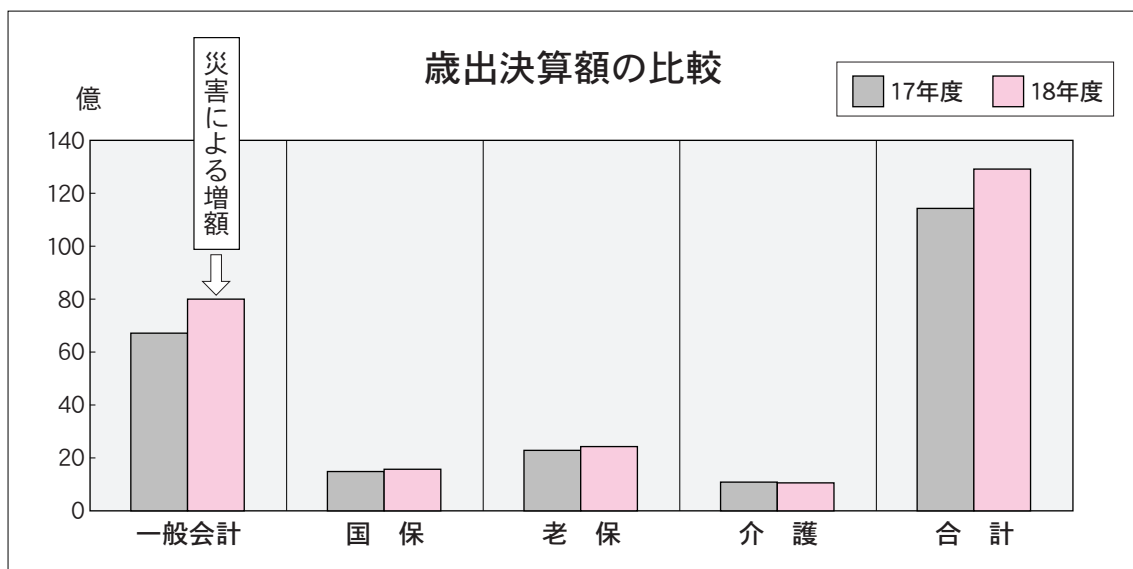
地域づくり基金は、ふるさとバス運行2,600万円、地域交付金1,900万円等に取り崩されたため、18年度末現在高は約2億5,000万円です。全ての基金の合計は約20億円です。

主な会計の歳出決算の前年度比較  
(単位：円)

	17年度	18年度	増減
一般会計	6,726,624,637	8,005,285,429	1,278,660,792
国保	1,456,953,679	1,520,680,043	63,726,364
老保	2,315,470,286	2,389,420,599	73,950,313
介護	1,015,499,733	1,011,835,517	△3,664,516
合計	11,514,548,335	12,927,221,288	1,412,672,953

### 前年度と比べると

- 災害が歳出増の大きな要因
- 共同事業拠出金の大幅増額
- 一人当たりの医療費の高騰
- 制度改正による保険給付費の減
- 災害関連が一番の要因





# 財政・ウォッチ

財政指数等の比較		(単位：千円，%)		
区 分	湧水町		類似団体	
	平成18年度	平成17年度	平成17年度	
財政力指数（3年平均）	0.29	0.27	0.27	
標準財政規模	4,073,374	3,954,754	3,601,376	
基準財政収入額	1,030,206	1,000,266	960,972	
基準財政需要額	3,444,644	3,330,011	3,328,653	
経常一般財源収入額	4,038,967	3,942,206	3,664,949	
実質収支比率	4.4	4.4	4.1	
経常収支比率	91.0	96.7	90.5	
公債費比率	16.4	18.6	15.0	
公債費負担比率	23.6	24.4	19.0	
実質公債費比率	16.8	17.4	15.1	
起債制限比率	13.5	13.9	11.0	

## 用語の説明

- 財政力指数（3年平均）…町税収入など自主財源の割合。
- 標準財政規模…町の標準的な一般財源の規模。
- 基準財政収入額…標準的な状態で徴収しうる税収。
- 基準財政需要額…標準的な行政を行った場合に必要となる額。  
(普通地方交付税＝標準財政需要額－基準財政収入額)
- 実質収支比率…標準財政規模に対する実質収支額の割合。3～5%が望ましい。
- 経常収支比率…一般財源を経常経費についやす割合。75%以下に。
- 公債費比率…標準財政規模に占める借金返済の割合。10%以下に。
- 公債費負担比率…一般財源総額に対する借金返済の割合。15%以下に。
- 実質公債費比率…類似経費を導入した借金返済の割合。18%以下に。
- 起債制限比率（3年平均）…地方債の許可制限。15%警戒ライン。

## 経常収支比率

財政の硬直度や弾力性を示します。本町は91%で前年度より改善していますが、町村では75%を目途に、今後とも下げる努力をしています。

## 何が分かった!?

### 実質公債費比率

18年度から導入された財政指標で、公債費類似経費を算入しているものです。18%を超えないようにします。

## 実質単年度収支

この他、合併以来赤字で推移してきた実質単年度収支が18年度は黒字になりました。

## がけ崩れ対策事業

● 7,442万4,000円

平成18年7月豪雨災害により急傾斜地が崩壊し、崖上及び崖下周辺の住民の生命・財産に危害が及んでいましたが、工事施工により保護及び国土の保全が図られました。



## 防災行政無線整備工事

● 1億6,372万6,000円

親局1局を本庁舎に、その他中継局1局、栗野地域に屋外拡声機1箇所、個別受信機3,000台を設置。これにより吉松地域と無線が統合され一括放送となり、放送内容や災害時サイレン吹鳴等の統合が図られました。



## 下場土地区画整理事業

● 2億9,217万円

区画整理事業は、「交付金」「地特単」「単独」の3事業を同時並行的に実施することで事業が推進されています。写真は、本町<sup>ほんまち</sup>川1号公園排水路工事の現状です。(鹿銀栗野支店の東側)



## 桶寄川排水機場(竹中地区)

● 2億7,196万円

平成18年度は、竹中地区排水機場が新設整備され、今後は内水排除に威力を発揮することになります。



## リバーフロント整備事業

● 1,023万7,000円



駐車場階段工事，親水護岸工事が年次計画により整備されました。

## 湯ったり館補修工事

● 128万1,000円

白蟻による浴室内，外部浸食に伴う補修工事等ができ施設への誘客が図られました。



## まちづくり交付金事業



● 1億3,719万9,000円

「名水丸池」地区の整備（栗野駅自由通路区画整備など）公園機能の充実と，駅前広場整備により住む人，訪れる人が和み癒される交流拠点として利便性が向上しました。

## 県単独補助治山事業

● 227万円



恒次上村地区

自然災害により崩壊した林地が復旧され，安全・安心が図られました。

## 道路災害復旧工事

● 1,396万5,000円

平成18年7月豪雨災害の被災地が復旧され，従前の機能が回復されました。



町道二渡竹迫線

## 下川西地区グラウンド整備

● 2,100万円

特定防衛施設周辺整備調整交付金により，永山集会所前広場に下川西地区グラウンドが整備され，地区民がいつでも安全に使えるようになりました。



## 調理場建設費

● 4億2,790万6,000円

これまで2園7校の小中学校へ2調理場で給食を実施していましたが、2調理場とも施設・設備等に著しい老朽化が進み、衛生面機能面において問題があり、新しい調理場を整備しました。最新のドライシステム方式で各部屋が間仕切られ、施設全体が汚染区域、非汚染区域にしっかり区分され、安心して安全な給食ができるようになりました。



## 吉松中学校石綿除去工事

● 1,995万円



平成17年度のアスベスト調査において吉松中学校本校舎1階の天井からアスベストが検出され、学校は安全でなければならないことからアスベストの除去工事を行い、安全な学校環境が確保されました。

## 学校施設等災害復旧費

● 2,180万9,000円

平成18年7月県北部豪雨災害により吉松小学校屋内運動場は床上135cm、吉松中学校は床上15cm浸水し、床・壁が被害を受けましたが、文部科学省の災害復旧事業により早急に復旧され教育活動が平常通りできるようになりました。

吉松小（屋内運動場災害復旧工事）

940万1,000円

吉松中（屋内運動場災害復旧工事）

1,221万7,000円



## 決算審査を終えて

決算審査特別委員長 飯屋 良二

18年度は北部豪雨災害があったにも関わらず、財源の持ち出しが少なく評価するものであります。

21年度から地方公共団体の健全化に関する法律が施行されようとしていますので、気を引きしめ財政運営をしなければなりません。

全体の成果の書き方については、前年と比較し、データを分析した内容で、費用対効果を示すものになるよう要請いたしました。

採決の結果、全会一致で認定すべきものと決しました。



## 熊毛郡南種子町議会

8月1日、合併後の行財政及び高校再編の状況について視察され、樋口議長・宮里副議長、執行部から町長（総務課・財政課）が対応しました。



行政視察 受入れました

## 福岡県二丈町議会



7月23日、議会運営及び合併後の財政的効果などについて視察され、本町議会運営委員会・執行部から町長（総務課）が対応しました。

## ゆうすい季節の花

**あけぼの草**  
沢原高原に自生するあけぼの草は、花冠の裂片には緑色の2点および黒紫色の細点がある。斑点を夜明けの星空に見立てた生育地・山野の水辺に生える二年草。  
花期・9～10月  
高さ・60～90cm  
葉・対生、全縁、卵状楕円形で3主脈が目立つ。根出葉がある。  
花・有柄の白い花。花冠は深く5裂



## 町の情報は議会から

傍聴にお越しく下さい。  
12月議会は中旬予定

### 編集後記

天高く馬肥ゆる秋  
暑くて長い夏も終わり、朝夕はめっきり涼しい今日この頃となりました。

今年は大きな災害もなく、豊作のこととお喜び申し上げます。

川内川の災害復旧は順調に進んでいるようですが、阿波井堰及び狭窄部の抜本的改修については、河川整備計画に乗せるために住民・行政・議会が丸ごとになって推進しているところとあります。

合併3年目にあたりより良い町づくりをめざす議会の動きを分かり易くお伝えするように今後とも努めてまいります。

### 議会広報調査特別委員会

委員長 亀澤 中  
副委員長 議員 文夫  
委員 淵上 幸男  
同 綾織まち子  
同 福島 勝男  
同 上水流 功